

# 羽津青少協だより

第47号

羽津地区青少年育成協議会  
平成28年3月1日発行

## 主な 行事

- 野外キャンプ
- 羽津地区球技大会
- 電車旅行
- 研修事業

## 一年を振り返って



青少年育成協議会 会長  
藤井 靖裕

今年度も無事に行事を終える事ができたことを感謝しております。

最初、行事をする前に安全を共有するため、研修部のKYT、救命講習を行いました。次に野外部による泊二日の野外活動（キャンプ）です。今季も行うことができ、さらに久しぶりにキャンプファイヤーができました。また、翌朝の豪雨には、参加者皆さんのチームワークで乗り切りキャンプならではの一体感ができた活動でした。球技大会（ドッジボール大会）は、子ども達にとって夏の一大イベントです。大げさではありませんが、羽津地区内での郷土愛が出てくるように思います。そしてそこには世代を問わずお孫さんを見に来られるおじいちゃんおばあちゃんの応援する姿をお見ると、とても微笑ましく感じられました。

また、ふれあい電車旅行では今まで続いていましたテーマパークではなく、鳥羽・志摩旅行を企画してみました。原点回帰ではございましたが、たくさん参加申し込みがあり、あいにくの天候でしたが、無事にできたことは皆さんのご協力があったことだと感じました。

この様に、安全に活動することができたのも育成者の皆様をはじめ、地域のみなさまのご支援とご協力があったことと思います。また、この伝統を築きあげ守ってこられた諸先輩の方々のお蔭であると感じております。今後も、この伝統に恥じない活動と日々変化する社会環境に適応しながら、行事を行う際には、安全に関する点を常に考え、どのような行事をするうえでも欠かすことができない項目として、運営する側は勿論、参加していただく方の共通認識でないといけないと思います。このことを念頭において行事運営を行うて参りますので、引き続きご支援ご指導を賜わりますようお願い申し上げます。

一年間ご協力いただきありがとうございました。

# 野外キャンプ

## 野外キャンプに行つて

羽津小五年 藤井 李寧

六月二十日と二十一日に野外キャンプに行きました。

一日目は、四日市スポーツランドに行つて班別でアスレチックなどで遊びました。その後、四日市市少年自然の家に行つて、カレーを作りました。みんなで協力して野菜を切つたり飯ごうでお米をたいしたりしたので、すごくおいしかったです。

夕方にはキャンプファイヤーをしました。ゲームをしたり歌を歌ったりして楽しかったです。夜は部屋でお友達とおしゃべりをして楽しくて全然眠れませんでした。

二日目は、朝体育館でラジオ体操やいろんなゲームをして楽しみました。



した。本当は自分達で朝食を作るはずだったけど雨でできなかったのは残念でした。

このキャンプで、初めて会った子ども自然に仲良くなれたので良かったです。

## 野外キャンプについて

いかるが 名倉 麻莉

一日目、桜のスポーツランドでは、子ども達は楽しそつにはしゃいで何周も周っていました。ケガをした子ども何人か見受けられましたが、大



きなケガもなく皆楽しく遊んでいたもので、よかったです。

スポーツランドで遊んだあと、少年自然の家に行つて、荷物を降ろした後、夕食のカレー作りが始まり



ました。野菜の皮をむく作業、切る作業がすごくない感じはしましたが、自分達の班オリジナルのカレーができて楽しく笑いながら、他の班の子達のカレーをもらつたり、感想を言いながら食べていました。

両校の校長先生も駆けつけてくれて、いろんな班のカレーを試食してくださいっていました。

カレーを食べた後は、何年振りかのキャンプファイヤーをしました。青少協の人達が、いろんなゲームを教えていただき大人も楽しいキャンプファイヤーになりました。

二日目の朝は、子ども達で外で朝食を作る予定でしたが、雷雨がひどかったので急遽本部の方達で作っていただきました。その間、子ども達には少し時間をもてあましていたこともあったのが残念というか、かわいそつでした。

しかし、泊二日の野外キャンプは、最初は不安だらけでしたが、終わつてみれば楽しい二日間になりました。子ども達もいろんな経験をしていい思い出ができたと思います。



# 球技大会



## ドッジボール大会を終えて

羽津小六年 神津 美月



私は、六年生なので最後のドッジボール大会が終わりました。大宮第三は、負けてしまい悔しかったけど、チームのみんなが一緒に頑張ってくれたので楽しい思い出になりました。

夏休みに入りすぐ練習がはじまって、毎日暑かったけど夕方練習に行くのがすごく楽しみでした。時間になつて行くと、すでに役員や係りのお母さん達がコートを書いてくれていて、練習中もボール拾いをしてくれました。グラウンドに来ている他のチームと沢山練習試合をしました。強いチームと対戦する時には、チームの小さい子や女子は怖かったと思います。私も三、四年生くらいまでは男子が投げるボールが怖いときがありました。でも、地区の子達は嫌がらずに一生懸命やってくれて対戦相手の六年生の男子も練習

試合では、小さい子や女子に対して強さを考えて投げてくれました。

ドッジボール大会の日は朝から「勝ちたいなあ。」と、思いながらドームに向かいました。試合では負けてしまいましたごく残念でした。

「来年も出たいなあ。」と思いましたが、今年で終わります。悔しい思いもしたけど、楽しい思い出も沢山できました。練習から試合当日まで色々なお父さんやお母さん、ドッジボール協会の人など、私達のために沢山の方々が動いてくださってとても感謝しています。ありがとうございました。

## 球技大会が終わって

大宮西 高橋 朝美

今年も球技大会が終わりました。子ども達は練習を重ねる度にドッジボールが上手になり、楽しくなっていく様子が横で見ているとよく分かりました。

特に今年の夏は暑く、練習も大変でした。しかし、その甲斐あってか賞状を持ちかえることができました。何度も練習に来てくれた中学生や、練習のサポートをして頂いた保護者の方に感謝をし、子供達にはよく頑張ったねと誉めてあげたいです。

役員の私にも、とても貴重な体験ができた夏でした。ありがとうございました。

# 電車旅行



## 楽しかった電車旅行

羽津小六年 伊藤 菜々佳

楽しみにしていた電車旅行の日は、強い雨になりました。そのため、イルカ島には行けませんが、鳥羽水族館でたくさん楽しむことができました。



鳥羽水族館で特に楽しかったのは、ショーを見たことです。アシカが音楽にあわせてダンスをしたり、セイウチがハーモニカを吹いたり、すごい技をたくさん見せてもらったので良かったです。また、ドクターフィッシュが楽しかったです。手の角質を取ってくれているとき、こそばくで気持ちよくてその場から離れられませんでした。

帰りの電車では、号車対抗ゲームをしました。三分以内に何人がお題にそった言葉を言えるかというゲームです。結果、私の乗っていた二号車は二位でした。朝からの雨が降っていました。



いたのでとても心配でしたが、心に残る電車旅行になりました。

## 電車旅行

羽津山町 安藤 豊



今年の電車旅行は、鳥羽湾めぐりと鳥羽水族館へ行きました。当日は、雨、風とも強く天候には恵まれませんでしたが、早朝にもかかわらず、子ども達は元気いっぱい、「あおぞら号」に乗って、鳥羽へと出発しました。

鳥羽湾めぐりでは、雨のためイルカ島へは降りられず、予定を変更しての行程となりましたが、船からカモノエをあげている子ども達は雨にぬれていてもテンションは最高潮。とても楽しい笑い声が響いていました。

鳥羽水族館では予定よりも長い滞在時間となり、アシカショーを見たり、セイウチを間近で見たり驚いたりして、楽しい時間を過ごすことができました。初めて参加した電車旅行、とても良い思い出となりました。

## 研修部活動報告

研修部長 松永 幸司

2005年度の研修部の活動として年間の活動を安全に行うため、KYT(危険予知トレーニング)やAED(救命救急講習)を6月7日に四子連や四日市北消防署、羽津地区消防団の協力のもとおこなわれました。年が明けて、1月31日に人権講習会をおこないました。忙しい中、多くの育成者の方々に参加していただきありがとうございました。

来年度も子ども達に安全な活動が出来る事を第一に考えながら行事活動を進めたいと思っています。



## 編集後記

今年も多く行事を企画し、運営してきました。各行事とも無事に終える事ができ子ども達の笑顔が次年度の活力になります。発行に際し、育成会長様をはじめ多くの方々に協力を賜り、深く感謝しています。

次年度も、協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

広報部 堀川 圭子